

校長室の小窓から・・・

—No.16— 令和7年11月15日(土) 金光八尾中学校高等学校 校長 松井 祥一

「タイパ・コスパだけでは面白くない」

11月5日は今年最大の月、スーパームーンでしたが、当日は生憎の天気で、翌日の月を眺めながら、物思いにふけていました。「嘆けとて 月やはものを 思はする かこち顔なる わが涙かな」(西行法師) この歌の涙は恋人を思って流していますが、私が大きな月を見て考えていたことは、残念ながら恋人のことではなく、時間の過ごし方についてでした。学校現場はルーチン的な面が多く、行事に追われて、気づけば時間だけが足早に流れていることがあります。

いかに時間を有効に使うのか、とても大切な課題です。最近、「タイパ」という言葉をよく耳にします。「タイムパフォーマンス(時間対効果)」のことですが、Z世代を中心に「タイパが良い」「タイパが悪い」と言って、短時間で大きな成果や満足度を求めているようです。動画の倍速再生やショート動画がその例と言えるでしょう。

もちろん限られた時間で、タイパを優先することが悪いわけではありません。しかし、無駄に思える時間の大切さも忘れてはならないと思います。学生時代、私は色々なアルバイトを経験しました。40年以上前の話です。家庭教師、塾講師、古墳の石室調査、教材の訪問販売など、当時してみれば時給の高いバイトでした。唯一、年末の餅屋でのアルバイトは違っていました。決して時給が良いとは言えませんでした。つきたての餅をご馳走になりながら店主と雑談したり、配達先のお婆さんにお小遣いだと言って100円玉をもらったり、タイパやコスパ(コストパフォーマンス)とは真逆のゆったりとした時間が、楽しく人との関わりを学べる良い機会でした。

「楽しく学ぶためには勇気と成長を実感すること」という話を聞いたことがあります。できなかったことができるようになる自分の成長を実感できれば、学びが楽しくなるというのは想像に難くありません。では、できなかったことができるようになるためには、どうすればよいのでしょうか。それには新たな第一歩を踏み出す勇気が必要だということです。「自分にできるはずがない」と最初からあきらめていては何も変わりません。成功するか失敗するかはやってみないとわかりません。楽しく学ぶための勇気とはそういう気がします。「為せばなる、為さねば成らぬ何事も」と言うではありませんか。

